

令和3年度 祐天寺駅周辺地区
まちづくり懇談会・ワークショップでの
ご意見と
基本計画・設計へ向けての考え方

目黒区

都市整備部 都市整備課

令和4年4月

令和3年度 祐天寺駅周辺地区 まちづくり懇談会・ワークショップでの

意見類別		第1回まちづくり懇談会・ ワークショップ 「まちづくりの進め方・ 駅前広場の利活用の議論」	第2回まちづくり懇談会・ ワークショップ 「駅前広場の複数案の検討・ 模型を用いた利活用の議論」	
1. 考え方・進め方				
	(1) 再整備 の 考え方 の方 の	広場整備は地域の人のためなのか、 人を集めるためなのか、 議論の際に目的を共有するべき		
		駅前前で完結させずに、周辺（商店街など） とのつながりをうまく作りたい		
		コロナが続くことを想定しておくことも大切 だと思う		
	(2) 進め 方の 検討 の方 の	駅前広場のプランをどのように決定してい くかを知りたい	駅前広場の案は事前に提示してほしい	
		有益な議論をするためにも駅前広場の再整 備にあたっての与条件を示してほしい		
		事例を元に議論したい		
2. 目標・方針				
I 駅前広場の再整備	(1) 安全性	a 交通安全	交通の安全が大前提だと思う	まずは安全性と交通を万全に
			歩行者のための空間が狭く、危険である	
			交通弱者（高齢者や足が悪い人）への対応 を第一に考えたい 広場での活動は二次的に考えればよい	
	(1) 安全性	b （歩車共存の空間） シェアドスペース		アドバイザーの先生が紹介した歩車共存 （シェアドスペース）の考えは素敵に感じる
				シェアドスペースを採用した案を作れないか
				舗装を変えてシェアドスペース化するのが よい
				駅前広場南側は車のスピードを遅くし、歩 車共存にしたい
	(1) 安全性	c 見守りの目	交番の復活について検討したい。 交番についての整理が先に必要ではないか	駅前のわかりやすい場所に交番を設置した い
				交番の目が届くように広場に交番を設置し たい
				交番の位置を案内する機能も必要
誰かが広場を見ていれば、広場に交番がな くてもよい				
ロータリーに送迎目的の駐車が多いが、人 の目があればなくなるのではないか				
		本通り（祐天寺駅通り）との結節点では、 車両の一時停止を守らせるための取り締まり を強化する		

ご意見と基本計画・設計へ向けての考え方

<p>第3回まちづくり懇談会 「駅前広場の整備目標と検討案・ 今後のプロジェクト推進」</p>	<p>基本計画・設計へ向けての考え方</p>
<p>目標に関して異論はない</p> <p>レイアウト検討案を改善し、みんなが納得できる形にしてほしい</p> <p>歩行者・バス共存案は、現在の交通島を無くすことになるため、長年住んでいる住民の視点では、反発が大きいことが懸念される</p> <p>進め方や計画案のブラッシュアップ（一方通行や予算の検討を含む）は関係者で引き続き協議が必要である</p> <p>レイアウト検討案それぞれの課題を解決しながら進めてほしい</p> <p>3年度(2021)に引き続き、今後も検討したい</p>	<p>現状の様々な課題を総合的に解決できるように駅前広場の再整備計画を検討していきます</p> <p>令和4年度(2022)も、地域の皆さまのご意見を伺いながら、よりよい駅前広場を目指して再整備の検討を行います 地域の課題解決に資する駅前広場に、長期的な観点から取り組んでいきます</p>
<p>安全性の確保が再整備の最大の目的だと思う 現状の駅前広場よりも安全・安心であることが必要</p> <p>快適性によって安全性が損なわれないようにしてほしい</p> <p>歩きやすさと安全性をリンクして考えるべき。ベビーカーなども安全に通行できるようにしてほしい</p>	<p>日常の安全性を最優先した上で、快適性を確保する検討を行います また、祐天寺駅周辺地区は「目黒区バリアフリー基本構想」の重点整備地区であることから、バリアフリーネットワーク形成のため歩行空間・道路・交通安全施設等のバリアフリー化の取組をすすめます</p>
<p>歩車共存（シェアドスペース）は進めてほしい</p> <p>シェアドスペースの考え方は良いが、祐天寺駅前広場での条件では危ないのではないだろうか</p> <p>少なくとも15分に1本はバスが進入するため、歩行者とバスが交差するのは危険だと思う</p>	<p>歩車共存の安全性の確保について検討を深度化させ、祐天寺駅前にふさわしい歩車共存空間を作っていきます</p>
<p>駅前に交番を復活させることは、安全やコミュニティの観点からも重要なため、引き続き検討してほしい</p> <p>見守りは、警察だけで行うものではない。民間でも駅前広場内の見守りを行うなど、公民連携で「人の目がある」駅前広場にするための仕組みを検討したい</p> <p>小さくてもよいので見守り場所の整備を行い、人員の配備や見回りの実施（スピーカーで注意喚起など）を行いたい</p>	<p>駅前広場に「見守りの目」があることは大切です 一方、駅前広場内への交番設置は、必要な敷地を確保することが難しいところです 地域の皆さま・商店会と連携した「見守り」機能について検討を進め、広場の中で「見守り」機能をどのように持たせるのかを検討していきます</p>

意見類別		第1回まちづくり懇談会・ワークショップ 「まちづくりの進め方・駅前広場の利活用の議論」	第2回まちづくり懇談会・ワークショップ 「駅前広場の複数案の検討・模型を用いた利活用の議論」
I 駅前広場の再整備	(2) 利便性	a 交通の利便性	歩道を広げるだけでなく、使い方や快適性も考慮したプランを
			イベント目的より、日常の歩行者利用のしやすさを考えてほしい
			公共交通（バス・タクシー）のスムーズさを優先するのがよい
			住宅街への車両流入が増えそうで不安
			通学路の経路を含む全体的な見直しが必要ではないか
			現状の駅前が狭いので、広く使えるように周辺の交通ネットワークも含めての検討が必要
		周辺の道路ネットワークと駅前広場内の駐車場の位置や向きは連動している。総合的に検討を進めてほしい	
		b ロータリー機能	機能としてロータリーは残すべき
			ロータリーは交通の結節点なので、車を排除するのは現実的ではない
			ロータリーが便利。現状をベースに歩車共存のデザインにしてはどうか
			ロータリーを無くすことで接触事故の危険が増えないか心配 車両はロータリーがあるため減速する
		c バス・タクシー	災害などが起きたときなどのため、バスが折り返せないと危険
バスが転回できるように			
バスを小型化してロータリーを回すようにしてはどうか			
モバイルのタクシー予約システムの活用で、待つ必要性を減らし、待機空間を減らすことができるのでは			
南側の交通処理によってはタクシーが不便になりそう			
d 自転車等	自転車・オートバイ（Uber Eatsなど）の取り締まりを強化する	自転車の通行も考えたい。段差がない方がよい	
	駐輪場が足りないため、交通島の地下に整備できないか	交通島の地下に駐輪場を整備してはどうか	
	バイク置き場の整備が必要だと思う（現状は不足気味）		

<p>第3回まちづくり懇談会 「駅前広場の整備目標と検討案・ 今後のプロジェクト推進」</p>		<p>基本計画・設計へ向けての考え方</p>
		<p>日常的な歩きやすさや快適性に配慮しながら、歩行者空間・歩行者滞在空間の、使い方を地域の皆さまと検討していきます</p>
<p>通過交通が駅前を経由しないよう、駅周辺全体での交通計画も検討するべきだと思う</p>		
<p>駅前広場整備に合わせて周辺全体の交通をより分かりやすくしてほしい</p>		<p>駅前広場整備の検討は、駅周辺道路への影響も考慮した一体的な交通検討を行いながら進めます</p>
<p>標識の分かりやすさも重要</p>		
<p>周辺道路（栄通りや昭和通り）の逆走対策も必要</p>		
<p>一般車のロータリー機能が制限されるべきではない</p>		
		<p>交通レイアウト検討では、バスが転回可能となるものとしていきます</p>
<p>タクシーは各方向に向かえることが大事</p>		<p>交通レイアウト検討では、タクシーの利便性を維持したものとしていきます</p>
<p>他の新しい交通手段（キックボードなど）との共存（各交通モードの通行ルールの棲み分けなど）も検討するべき</p>		<p>今後、各種の新たな交通手段が実現され、普及・一般化していくことが考えられます それらを視野に入れて検討をしていきます</p>

意見類別		第1回まちづくり懇談会・ワークショップ 「まちづくりの進め方・駅前広場の利活用の議論」	第2回まちづくり懇談会・ワークショップ 「駅前広場の複数案の検討・模型を用いた利活用の議論」	
I 駅前広場の再整備	(2) 利便性	e 荷さばき・送迎 荷さばき駐車は必要であり、どこに確保すべきかが問題 (駅前広場東側や交通島につけて駐車等)	荷さばきについても考慮して計画すべき	
			荷さばきの空間を駅前広場に確保したい	
			荷さばきのため、路上駐車は結局発生してしまう。周辺のテナントは無視できない。一概に排除するだけの対策ではダメ	
			荷さばきを行う関係者(東急・クロネコなど)を集めて話し合うべき。時間を決めて行う共同荷捌きなど	
			朝だけ荷さばき可としてはどうか	
			交通島は荷さばきに使わない方がいい	
			南東側の通りに荷さばきの空間が取れないか	
	a 「祐天寺らしさ」	車両(荷さばき・送迎)と交通島の花壇があるので、駅からまちへの見通しが悪くなっている	病院バスの送迎スペースを確保したい	
			病院の送迎バスは他の車両の駐停車位置とシェアするようにしたい	
			一般車の乗降への対応も必要なのでは	
			違法駐車を防いでほしい	
			乗降スペースを整備しない場合の対応をどうするか	
			シンボル性のある空間に整備してほしい	祐天寺駅らしいアイストップが欲しい
			住みたくなる街・五感で感じる町を目指したい	
賃貸住宅のコストパフォーマンスがよい				
(3) 魅力の向上	a 「祐天寺らしさ」	子育て世代にとって住みやすい環境である	駅前広場を子どもの居場所にしてあげたい	
		テレワークで日中も若者がいるまち		
		建物が古くて店舗の家賃が安いいため、若い人が新規に出店しやすい		
		シェアオフィスが増えている。様々な属性の人々や活動を受け入れる空間・機能が求められている		
		祐天寺には少し暗い印象がある(個性とも言える)。個性が生まれる演出を。まち、お店が映えるように簡易的なLED照明を設置する実験を行う等をしてはどうか	現状の(良い意味での)「田舎くささ」を残したい	
	祐天「寺」的なイベントを行ったらどうか。寺町感が今はない。祐天寺のアイデンティティにつながるのではないか。			

<p>第3回まちづくり懇談会 「駅前広場の整備目標と検討案・ 今後のプロジェクト推進」</p>		<p>基本計画・設計へ向けての考え方</p>
<p>住民は日常では特に荷さばき車を意識しないが、 店舗の荷さばき需要にも応えていきたい</p>		<p>路上での荷さばきは交通法規上の問題があることから、適正な荷さばきが行われるようにするため、周囲の民間駐車場における荷さばき可能駐車場の確保など、周辺まちづくり等とも連携した継続的な検討・協議を行っていきます</p>
<p>荷さばきによる駐車だけではなく、病院送迎の車なども駐車場所が分からずロータリーに駐車することもある。自由度の高いスペースを目指してほしい</p>		
<p>違法駐車ができないレイアウトにしてほしい</p>		<p>違法駐車を誘発させないような交通レイアウトにしていきます</p>
<p>(駅付近の) 造園屋さんの「石」のイメージを駅前にも作れないだろうか 造園屋さんも含めて検討を進めてほしい</p>		<p>現在の祐天寺駅前の形状は、およそ50年前にその原型ができました 将来世代のためにも、「祐天寺らしさ」を地域の皆さまと引き続き議論して、駅前広場の再整備に反映させていきます</p>
<p>祐天寺駅前広場に「祐天寺らしさ」を表現できると良い</p>		
<p>地域を印象付けられるような、「ウリ」になる駅前広場にしていきたい</p>		
<p>将来世代を考えると、祐天寺を住みやすい楽しいまちにしたい。かつては祐天寺との関係が強いことがまちの特徴であった</p>		
		<p>「祐天寺らしさ」と併せて引き続き検討していきます</p>

意見類別		第1回まちづくり懇談会・ワークショップ 「まちづくりの進め方・駅前広場の利活用の議論」	第2回まちづくり懇談会・ワークショップ 「駅前広場の複数案の検討・模型を用いた利活用の議論」		
I 駅前広場の再整備	(3) 魅力の向上	b 歩行空間	歩行者空間を広げてほしい	人中心の空間に。車道と歩道をフラットに整備し、段差をなくしたい 歩道が狭く、歩きにくい 駅改札前の歩行空間が狭い 銀行の駐輪場前は狭くて歩きにくい 高架下の東西通路が狭く、暗い。高齢者が歩きにくい（シニアカーが通れない） 高架下の東西通路前の横断歩道の位置を変更する コンビニ前の道路に歩行者空間がほしい 駅南東側にウーバーイーツ配達者がたむろしていることがある	
			道路の舗装の工夫により安全にできるのでは	車道と歩道は色で分けるイメージなのだろうか。ある程度固定された物（ボードなど）で分けることも必要ではないか 歩行者空間の舗装を明るい色にして、車道と区別できるようにしてはどうか コンビニ前道路の角が危険。舗装の色を変える等の工夫が必要 歩道が連続することで 結果的にイベントをやりやすくなれば良い	
			駅からバス停まで屋根をかけて、雨を気にせず移動できるようにしたい	歩行空間内で連続した通路屋根を整備 通路屋根により歩行者の流れをある程度コントロールできるのではないかと	
				バス停屋根の支柱等にハンギングの植栽を設置してはどうか	
			c 滞留空間	まずはスペースの確保を優先すべき 駅前広場の規模が小さい 駅前広場に機能拡充する余地がない 駅前広場の空間が狭いため、できることが限られる	駅前広場を利用する人のための空間を広げたい
				くつろげる場所がまちに不足している 居心地の良い立ち話ならぬ座り話ができるように リモートワークなど外で仕事しながらくつろげる場所がほしい	ちょっと休める場所として駅前広場を使いたい
		ベンチ等はあった方がよい（高齢者・けがをしている人などのため） ベンチは自由に使えるものが良い		舞台を設置すると普段から座れるようになる ベンチは質の高いものを整備したい	
				ベンチなどの街路設備（ファニチャ）は可動式にしてほしい ベンチはバス停の近くにあると良い バス乗降客数は多い 待合スペースも大きく確保したい バス停を駅の西側（上目黒小学校付近）に移設してはどうだろうか 歩行者の溜まり空間は必要	
		水と緑があると自然感が増す 地域の人が癒される空間にしたい		単にベンチだけを置くのではなく、みどりと一体型が望ましい	
		木陰がほしい。祐天寺の規模感だとシンボルツリー一本（駅前に木がある） 広場を多目的に使えるように小さな植栽ですぐ緑化したい		植栽兼ベンチが効率的。可動式がよい	

<p>第3回まちづくり懇談会 「駅前広場の整備目標と検討案・ 今後のプロジェクト推進」</p>		<p>基本計画・設計へ向けての考え方</p>
<p>今の駅前広場の面積条件で路面のフラット化が上手くいくのかが懸念される</p>		
<p>スターバックス前の歩道が狭い</p>		<p>安全性や使いやすさ、歩車共存、利便性などから、歩道と車道のフラット化について検討を進めていきます。 歩行者通行量に対して十分な空間・幅員が確保できる計画としていきます</p>
<p>路面をフラット化する場合は歩車道の境界にポールなどの安全対策が必要</p>		<p>安全面に十分配慮しながら、舗装や沿道設備等（ファニチャ）などによるデザイン面の工夫をしていきます</p>
<p>商店街でのテイクアウトを楽しめる公園のような空間が必要。 また、ゴミ（を放置しないように）のルールも併せて検討するべき</p>		<p>駅前広場に休憩したり、寛ぐことができる空間（歩行者滞留空間）を作っていきます また、地域で自主的に利用のしやすい広場になるように利用ルールや管理方法なども地域のみなさんと検討していきます</p>
<p>座りやすさのためにベンチのデザイン性も大事。 また、ベンチ周辺がフラットであることも座りやすさにとって重要</p>		<p>駅前広場をできるだけフラットに整備しよう検討していきます 沿道設備等（ファニチャ）のデザイン面の工夫をしていきます</p>
<p>バス停を更に駅に寄せても良いのではないかと</p>		<p>ベンチなどの沿道設備等（ファニチャ）とバス停との位置関係を考えながら駅前広場を設計していきます</p>
		<p>みどりを感ずることができる滞留空間を作っていきます</p>

意見類別		第1回まちづくり懇談会・ワークショップ 「まちづくりの進め方・駅前広場の利活用の議論」	第2回まちづくり懇談会・ワークショップ 「駅前広場の複数案の検討・模型を用いた利活用の議論」	
I 駅前広場の再整備	(3) 魅力の向上	C 滞留空間	飲酒目的等のたまり場にならないような管理・運営が必要だと思ふ	ベンチは常設のものが必要だろうか ホームレスの方が寝てしまうのではないか
			今の交通島のまま、フラット（平坦）にして使いやすくする	周辺でイベントができる場所（小学校など）やベンチ（ケンタッキー前など）があるので、そこまで整備をする必要性を感じない
			人が入れるような交通島を整備	現状の形を活かして歩行動線を改善する（現状では祐天寺駅通りまで遠回りになるので乱横断→直線に近いスムーズな動線に）
				乱横断をしているのは一部の人のみ。どうせ発生するので、そのために歩行者空間や交通島を改変する必要性を感じない
			フラットに整備し、段差をなくす	ロータリーをフラットにすればイベントの時に使いやすくなる
			交通島を有効利用。イベントで使えるようにしたい	今交通島のまま、イベントを開催しやすいように改良してはどうか
			人が立ち入りづらいのであれば、何かシンボルらしいものをデザイン	花の手入れやイベントは年数回程度。季節の花を楽しみにしている人もいる。花壇も見るためだけの物で良いのでは
				花の管理が大変
				管理が楽な「みどり」を設置する
			時計台がほしい	ロータリーをおしゃれなデザインに
				交通島中心部を東西方向に通し、荷さばきや病院送迎バス停車のスペースにできないか
			駅ビルの1Fを駅前広場空間の一部として公共的に使う	駅舎と駅前広場の一体化 駅前広場の整備に合わせて駅舎も改修して、つながりを創出する 駅ビルの駅前広場に接続する部分はテラス化したい
				公衆トイレとその近辺はキレイな環境に保ちたい

<p>第3回まちづくり懇談会 「駅前広場の整備目標と検討案・ 今後のプロジェクト推進」</p>		<p>基本計画・設計へ向けての考え方</p>
		<p>地域の皆さまが活用しやすいルールや管理方法をみなさんと検討して、楽しく寛ぐことのできる空間となるようにしていきます</p>
<p>歩行者滞留空間を広くとりすぎているのではないか。もう少し車両のための空間にしてはどうか</p>		<p>駅前に必要な歩行者滞留空間の広さを精査し、車両の利便性とのバランスが取れたレイアウトを検討していきます</p>
<p>歩行者の主動線を大きく変えることで、安全性が下がるのは良くない。多少の迂回をさせるのは仕方ない</p>		<p>日常の安全性を最優先とした上で、快適性を確保する動線検討を行い、デザインに反映していきます</p>
<p>歩行者に配慮しすぎると運転手にとっての安全性が下がるという見方もできる</p>		<p>歩行者・運転者双方の安全を十分に確保できる設計としていきます</p>
		<p>今後の設計を進める中で、各種条件と優先すべき整備目標を比較衡量して、適切な交通広場としていきます</p>

意見類別	第1回まちづくり懇談会・ワークショップ 「まちづくりの進め方・駅前広場の利活用の議論」	第2回まちづくり懇談会・ワークショップ 「駅前広場の複数案の検討・模型を用いた利活用の議論」
1. 道路空間・沿道空間		
(1) 電柱等地上設備	商店街の街路灯が幅員を狭くしているの でなくせないか	電線類の地中化を進めたい
	商店街で監視カメラを設置予定である。そ のため、無電柱化は厳しい 地上機器の置き場所も必要となる	
(2) 沿道の建築物・施設	用途地域の変更や通り沿いの建物のセット バックをしてほしい	
	看板・サインの細かいルールはない (道路上のチェックはある)	
	店舗から道路ににじみ出していけるような 工夫ができないか	
	駐車場を集約してはどうか	
	店舗の誘導のためにオーナー (テナント) への補助があるとよい	
	建物正面の外観デザインへの助成(ファ サード助成)で魅力的なお店づくりができ ないか	
2. 交通		
(1) 通行規制	本通り(駅通り)を将来的に常時一方通行 にできないか	一方通行の方向を変える検討をしてほしい
(2) バスの運行計画	東急バス(目黒-三軒茶屋)の運行を駅前 通りで交差しないようにダイヤを組むこと ができるのではないか	バスを本通り(駅通り)ですれ違いをさせ ないようにすること(時差運行)は実現可 能か
	搭乗人数が課題だが、小型バス・小型モビ リティで駅とバス停をつなぐのはどうだろ うか	
	バスの路線を減らせないか 社会実験を行ってはどうか	
	みよし通りにバスを通せば一方通行にでき る。隅切りをすれば角も曲がれる	バスの経路変更:みよし通りは車両通行が 多くないため、店舗の什器はみだしを規制 すれば通行スペース確保できるのではない か
		みよし通りで建設中のビルの隅切りを大き くすればバスは通れるのではないか
		バスは現状の方がよいと思う

II 駅通りの安全性・快適性の向上

<p>第3回まちづくり懇談会 「駅前広場の整備目標と検討案・ 今後のプロジェクト推進」</p>	<p>基本計画・設計へ向けての考え方</p>
<p>無電柱化は機器設置の関係上難しいと思われるが、トランスを地中化するなどの方策は考えられないか。条件を整理して継続検討したい</p>	<p>関係者の皆さまと無電柱化を含めて検討していきます また、無電柱化を行っても、商店街街路灯は残します</p>
<p>街路灯はあった方がよい</p>	
<p>地区計画などで本通り（駅通り）でセットバックを検討する場合、各地権者の敷地内で壁面後退を行うことは抵抗感を持つ地権者もいると想定される</p>	<p>関係者の皆さま、商店会、関係機関と協議しながら本通り（駅通り）の歩行空間の安全性・快適性向上を検討していきます</p>
<p>ルールによって強制力を持つ方向に進まないようにしたい</p>	
	<p>歩行者を含めた詳細な交通量調査の実施と分析を行って、周辺交通ネットワークとの関係を考慮しながら、本通り（駅通り）の交通処理のあり方について検討を行っていきます</p>
<p>バスの小型化は難しいと思われる。バスがすれ違いにならないシステムの構築を検討したい</p>	<p>現状のバスの利便性を維持しつつ、課題の解決に向けてバス事業者と連携を取りながら検討を進めていきます</p>

意見類別	第1回まちづくり懇談会・ワークショップ 「まちづくりの進め方・駅前広場の利活用の議論」	第2回まちづくり懇談会・ワークショップ 「駅前広場の複数案の検討・模型を用いた利活用の議論」		
Ⅲ まち歩きとみどりの保全・創出	1. まち歩きとみどりの保全・創出			
	(1) まち歩きの資源	<p>まちがコンパクトにまとまっており、周遊しやすい</p> <p>細い路地が魅力的。本通り（駅通り）の改善に加え、駅前に対して歩いて楽しい路地の整備</p> <p>（空き店舗が比較的少なく）店が埋まっていいていい</p> <p>個人店が多く、個性的な店が多い</p> <p>古着屋が多いまち（夜遅くまで営業していることも特徴）</p> <p>若者が入れるような店（カフェなど）があり、店も人も多い</p> <p>蛇崩山支流緑道、アクセサリ美術館、芦毛塚、クスノキ・しだれ桜、庚申さん（石塔）、自転車屋、和菓子店、スパイス店…etc.</p>		
	(2) まち歩きに つながる活動の 取り組み	<p>情報集積のプラットフォームを作る</p> <p>若者に受けそうなWEBページやチラシ、パンフで紹介（SNSを活用した集積化）</p>		
	1. 木造密集地の改善			
	(災害に強いまちづくり) Ⅳ 木造密集地の改善	(1) 木造密集地の改善		<p>木賃住宅を建て替えても家賃が上がらないようにして、住み続けられるような仕組みが考えられないか</p>

<p>第3回まちづくり懇談会 「駅前広場の整備目標と検討案・ 今後のプロジェクト推進」</p>		<p>基本計画・設計へ向けての考え方</p>
<p>まち中の資源探しなど、まちの魅力（美術館など）を 発信していきたい</p>		<p>地域にお住いの皆さまと連携を取りなが ら、地域資源の発見・発信ができるよう サポートを行っていきます</p>
<p>火災が発生したときの心配は常にある。 駅通りの安全性・快適性の向上と併せて考えていき たい</p>		<p>ハードウェア・ソフトウェア、制度活用 など様々な取組みを組み合わせ、災害に 強い街づくりを進めていきます</p>